

## 令和6年度 第2回山梨県総合評価委員会 会議録

1 日 時 令和7年3月13日(木) 14時00分～16時00分

2 場 所 県庁防災新館403、404会議室

### 3 出席者

(委員) 8名(氏名は非公開)

(事務局) (技術管理課) 技術管理課長、技術審査監、課長補佐、  
技術評価担当職員 計7名

(県) (県土整備部) 総括技術審査監 1名

(営繕課) 技術指導監 2名

(他部局) 林政部森林政策課総務経理担当職員 1名

林政部治山林道課技術管理担当職員 1名

農政部耕地課技術管理担当職員 1名

企業局電気課開発担当職員 1名

4 傍聴者等の数 1名

### 5 会議次第

(1) 開会

(2) 県あいさつ

(3) 委員長あいさつ

(4) 議事

(5) 閉会

### 6 議事

#### 議事(1) ①工事の総合評価について

○事務局：(説明。資料1-1)

(質疑応答)

Q) 今年度より総合評価実施方針が変わったが、そのことにより、入札する業者の技術的レベルに変化はあったか。

A) 現時点では大きな変化はなかったと考えている。今年度末に令和6年度の工事成績評定が確定するので、今後、令和5年度のものと比較をし、技術的レベルに変化があったかどうかについて確認を行いたい。

Q) 技能者の登録数が増加しているという説明があったが、総合評価の応札条件等が理由で技術者不足が増加しているという説明もあった。これは、どういうことか。

A) 建設キャリアアップシステムに登録するのは、責任者としての役割を担う「技術者」ではなく、現場で直接的な作業を行う「技能者」であり、技術者や技能者の人数不足はあるものの、技能者の建設キャリアアップシステムへの登録数については増加傾向にある。これは、技術者や技能者の人数は不足しているものの、建設キャリアアップシステムへの登録については技能者の処遇改善等が見込まれ

ることから推進されているためである。

Q) 本店所在地における改定について、適切な場所に本店所在地を構えている業者が入札している状況が今後も続けられそうか。場所によっては、そもそも業者が減少傾向にあるという背景もあり、逆に応札者が減ってしまうのではないか。

A) 山梨県の近年の入札状況を見ると応札者数の変化はない。改定による地域に精通している企業を適正に評価することは、品確法で重要な取組みとしている地域建設業の維持や災害時に最前線で対応してもらいたいという観点において非常に重要である。したがって、今後も本店所在地の評価項目は続けていく予定である。

Q) 意見聴取の件数が特定の時期に集中することと、一者応札の数について相関があると思ったが分散するのは難しいのか。

A) 工事の繁忙期と閑散期があるなかで、山梨県では4～6月の閑散期に工事を増やそうと発注時期の平準化を行っている。また、予算の関係もあり、4月以降に当該年度の予算を使えるという体制や、経済効果の観点から9月までに発注をしたいという状況、また、経済対策の補正予算がきてから発注を行う等、様々な影響を受けるためバランスが非常に難しい。今後とも平準化を目標に兼ね合いを検討していく。

○議長（委員長）：他に御意見・御質問はありますか。ないようでしたら、令和6年度の工事の総合評価実施状況については御承認いただいたこととする。

#### 議事（1）①工事の総合評価について

○事務局：（説明。資料1－2）

（質疑応答）

Q) 技術管理課と工事発注事務所における協議や回答のやり取りについて、簡易型・特別簡易型はメールでの送付、標準型・高度提案型は文書管理システムでの発送ということで違いがあるが、これは何か。

A) 文書管理システムは決裁をとる関係で時間がかかってしまうという特徴がある。事務の軽減や統一の観点から、メールでの送付に統一させたい。なお、やり取りを簡素化するうえでミスがないよう十分に留意したい。

○議長（委員長）：他に御意見・御質問はありますか。ないようでしたら、令和7年度の山梨県建設工事総合評価実施要領等の一部改定については御承認いただいたこととする。

#### 議事（1）①工事の総合評価について

○事務局：（説明。資料１－３）

（質疑応答）

なし

○議長（委員長）：御意見・御質問がないようでしたら、令和７年度の工事の実施方針については御承認いただいたこととする。

## 議事（２）業務委託の総合評価について

○事務局：（説明。資料２－１）

（質疑応答）

Q) 今年度、予定価格の対象範囲を広げたが、それは設計コンサルタント業界から申し入れがあったのか。

A) 外部からの要望ではなく、県内部からの要望があった。金額で縛られてしまうと案件が選定しにくいためであると考える。

Q) 現在、予定価格の８割程度が落札しているとのことだが、価格競争ではなく、もう少し技術のほうで評価され落札される状況のほうが総合評価という意味においてはより良いのではないか。低入札価格によって辞退する会社がいくつかあるという現状に対し、改善策はあるか。

A) より技術力を評価する簡易型の件数を増やしていくことを考えている。

○議長（委員長）：他に御意見・御質問はありますか。ないようでしたら、令和６年度の委託の総合評価実施状況については御承認いただいたこととする。

## 議事（２）業務委託の総合評価について

○事務局：（説明。資料２－２）

（質疑応答）

なし

○議長（委員長）：御意見・御質問がないようなら、令和７年度の委託の実施方針については御承認いただいたこととする。

## その他について

○議長（委員長）：その他、事務局、委員の方から何か意見はあるか。

○事務局：事務連絡

○議長（委員長）：他にあるか。ないようであれば、以上をもって議事を終了する。